

## 東部地区

### 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

#### 議事要旨

#### 記

■開催日時：平成30年7月5日（木） 15時00分～17時07分

■開催場所：釜石情報交流センター 釜石P I T

#### ■次第

1. 市長からの挨拶
2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
3. 国道45号東側のスケジュールについて
4. 国道45号西側のスケジュールについて
5. 東前町・新浜町エリアのスケジュールについて
6. グリーンベルトのスケジュールについて
7. 主要事業スケジュールについて
8. 住居表示の変更について
9. 復興公営住宅の整備状況について
10. 住宅再建に係る補助制度について
11. 汐立雨水ポンプ場について
12. 消防屯所の整備について
13. 集会所について（東前町・新浜町）
14. 水産業支援にぎわい創出施設の整備について
15. 東部地区商店街の環境整備について
16. 釜石港海岸・釜石漁港海岸の防潮堤について
17. 甲子川水門の進捗状況について
18. 意見交換

## 意見交換（住民から市への質問と回答）

### 質問 1

大雨が降った場合における汐立雨水ポンプ場の能力、システム、処理方法はどうなっているのか。

### 回答

ポンプ場のシステムは、大型ポンプと小型ポンプがあり遠隔操作もできますし、ポンプ場内でも操作できます。あらかじめ、大雨や台風が予想できるときには自動運転を先にかけて対応したいと考えております。

### 質問 2

自然勾配で排水できる場所はどこか。

### 回答

震災後新たに雨量に応じた断面の確保や新しく水路を布設した部分もあります。まだ勾配がとれていない下流の一部のところは改修いたします。潮が低い場合は自然流下で流れるということになります。

### 質問 3

津波と大雨が重なった場合どうするのか、関係機関と最悪の状態を想定した話し合いをしているのか。

### 回答

県が管理する水門がありますが、そちらの方と大雨の際や大雨と津波が重なった場合の運転について協議を進めております。監視状況は、実際ポンプ場に行かなくても大平の処理場の中でも現状況を監視しながら制御していきたいと考えております。

### 質問 4

地盤沈下の状況と、ポンプ場の計画高はどれくらいなのか。

### 回答

ポンプ場の近辺で地盤が80cmほど下がったことをもとに設計しており、道路整備とあわ

せ30cmほどかさ上げしております。ポンプ場はプラス20cm高い状況です。仮に浸水してもポンプ場のシステムは動かすことができる形で進めております。

質問 5

今後の防災対策の対応について市長から市民への心構えをお聞きしたい。

回答

市民の皆さんには大変申し訳ないが設備には限度があるということです。

我々も教訓として取り組んでいきますが、ぜひ市民の皆さん一人ひとりが防災についての意識を高めていただきたい。自分たちが住んでいるところの機能の理解をしていただく為の話し合いや説明の場も設けていかなければと思っております。できれば町内会ごとに自主防災組織をつくっていただき、そこに行政も一緒に加わって勉強させていただくというような取り組みが必要だと思っておりますので、宅地造成が進みましたらぜひ地域の皆さんにはお願いしたいと思っております。

質問 6

東部地区の自力再建数176件という数字の確定は最終的にいつだったのか。

回答

今年の3月に決定しております。

質問 7

東部地区のかさ上げ造成する宅地の176の地権者の方々は一応自力再建する気があるという考え方でよいか。

回答

区画は176ありますが、未確定の宅地があります。

質問 8

未確定の宅地区画数はどれくらいあるのか。

回答

今現在約40区画の未確定の宅地がございます。

質問9

空いている宅地に対する対策などは決まっているのか。

回答

最終的に来年3月以降に条件付きで市民の方々に公募をかけていきたいと検討している段階でございます。

質問10

雨水をポンプ場から機械ポンプで汐立川に出すという考えなのであれば、沢の幅を広げたりしなければ処理が難しいのではないかと。

回答

ポンプの設計に際し雨量計算から始めた中で、汐立川の断面に関しては余裕があり、ポンプが動いても問題ないということで水路の幅の拡張はなしということになります。

ポンプをかけると高くなってしまう水位に関しては、このゲートのかさ上げを行い逆流しない形で行いたいと考えております。

質問11

汐立雨水ポンプ場から汐立川への排水水路にわざわざ2ヶ所カーブをとった理由はなにか。

回答

この用地は新日鐵住金(株)のものでありますので、そちらの方との協議の結果カーブを取ることになりました。曲ができてしまう部分の断面は余裕を持たせて、溢れることのないように施工を行っております。

質問12

以前あった4本の沢から来る水を左右に流し、その他に汐立川にも流すという案はなぜポンプ場だけの方策に変わったのか。

回答

その案は施工的に困難ということで1箇所を集めることになりました。

質問13

石應禅寺の上の方の方から相当量の土砂などが落ちてきているが、ポンプ場は詰まったりするのではないか。

回答

ポンプ場に入ってくる前に大きいスクリーンが有り、中にも自動の目の細かいスクリーンが設置されておりますのでそこで除去されポンプには入っていかない形になっております。石應禅寺の上の方は定期的に掃除をしております。他はその時の状況に応じて整備を進めていきたいと考えております。

質問14

防潮堤の陸閘の扉は自動で閉まるということだが、車などが挟まってしまった場合水門は閉まらないと思うがその場合はどうするのか。

回答

基本的にはゲートが閉まる前に警報音が鳴り、回転灯が回ります。あとは表示板で「ゲートが閉鎖中です」というアナウンス、文字が出るような形になります。したがって、回転灯が回り始めたならば車で進入するのではなくて、途中で置いて階段で避難していただくというのが基本になります。

### 【野田市長閉会挨拶】

今日はいろいろとご意見、ご質問いただきました。特に汐立ポンプ場のご意見が多かったと思いますが、ご承知のとおり東部地区のアキレス腱ですからね、これからこのポンプ場が完成すれば少しは安心して夜は眠れるかと思いますが、そうはいつでも緊急の場合、あるいは想定外の大雨、洪水というのがあるわけですので、一定の安全性は確保できますが、それ以上の場合もあるということでございます。

ポンプ場が完成した後も引き続きポンプ場を地域の皆さんでいろいろと視察をしたり、あるいは意見してもらったりという形はとりたいと思いますし、地域協議等や町内会等でもいろいろ進めております。先ほど沢沿いの流木とか、ごみとか、そういったものの危険

性のことについてもご指摘がございましたが、そういったところは行政だけでは目が届かないところがありますから、地域全体で見回っていただきながら安全対策を講じるというような方策を講じていかなければならないと思っております。ぜひよろしく願いをしたいと思えます。

それから、空き区画の話や汐立川の話もありました。当初は、いろんなアイデアが出て、こうする考え方もありますよというようなことも確かに話をしました。その後、計算をしたりいろいろ取り組んだ結果、今のような形になったわけです。先ほどの区画もそうなのです。意向調査するとこのぐらい宅地が必要だということで工事を進めるわけなのですが、途中で極端に数が少なくなった場合は計画を変更するわけです。例えば今の復興住宅もそうなのですが、最初のころはもっと多かったです。途中から復興住宅に入る方も少なくなって、結局設計の見直しをしていかなければならない。するとまた国との協議をして、結果また時間がかかるというようなこともございまして、今日まで来てしまったわけですが、ある途中からもうこれ以上数が変更あってもこのままでいかないと遅くなるということで、宅地の造成も今のような形で固定させていただいて、工事を進めてきました。

かといって、空いた区画をそのまま放置するわけにはいきませんので、これは地域の皆さんに活用していただければ一番いいわけですが、先ほどお話ありましたとおり、まずは被災された皆さんのための宅地造成ですから、まずは被災者の皆さんが、必要な方がちゃんと確保できる事が大事です。復興住宅もそうです。被災された皆さんのために建てたものですから。ただ空き始めてきたので、被災者でない方でも入れるようにしようというのが今進めているところです。土地のほうもそのようにしたいということで、まずは被災者の皆さんに声をかけて、それでも誰も使う方がいないというのであれば被災していない方、一般の方でもいいだろうということで、これから公募をさせていただく手順を進めようとしているところでございます。

いろいろとまだまだご意見等もあろうと思いますが、今日また18時半からもございますので、もしお聞き足りなかったという方がございましたら、またご出席をしていただければありがたいと思えますし、このまちづくり協議会でなくても必要なことがあればいつでも役所のほうでもご説明をさせていただきますので、どうぞ何かご希望がございましたら、遠慮なく役所のほうに問い合わせをしていただければありがたいと思っております。

それでは、時間になりましたので、これをもって本日の復興まちづくり協議会・地権者連絡会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。